

今週（3月11日から3月15日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期終盤となったが引き続きビッドサイドの調達ニーズが強く、レートは高めに推移する展開が続いた。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、週初11日(月)が▲0.010%、12日(火)と13日(水)が▲0.011%、14日(木)が▲0.009%と、概ね▲0.01%前後での推移となった。15日(金)は、新しい積み期間にかかる取引となったが、積み最終日要因が強く、レート水準は上昇する展開となった。

ターム物に関しては、積み期が切り替わることに加え、金融政策決定会合への警戒感からオファーが限られるなか、ショートタームを中心に▲0.01～▲0.001%程度で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初531兆円から始まり、その後は大きな変動が無く、週を通して530兆円前後で落ち着いて推移した。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出会い水準は、概ね▲0.11～▲0.05%程度での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンで水準調整が進んだ。

12日(火)に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、弱い結果となった。

15日(金)に実施された3M物入札は、水準調整がなされたものの、セカンダリーでは底堅く推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、医薬品、小売業、電気機器、建設業、石油など複数の業態が大型発行を実施した。

市場残高は、27兆円強で始まったが、週後半には26兆円台後半まで減少した。

発行レートについては、引き続き政策変更を織り込む動きから、ロングターム物の案件に加えて日銀適格担保銘柄の3 M以内の案件でも、レートの上昇、ばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

|         | 日経平均（円）   | 新発10年物<br>国債利回り（％） | 為替<br>（ドル/円中心相場） | 無担保コールO/N<br>（加重平均・％） | 東京レポレート(翌日物・<br>T+1スタート・％) | 日銀当座預金残高<br>（億円） |
|---------|-----------|--------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 3/11（月） | 38,820.49 | 0.760              | 146.75           | △ 0.010               | △ 0.106                    | 5,310,800        |
| 3/12（火） | 38,797.51 | 0.765              | 146.85           | △ 0.011               | △ 0.115                    | 5,317,600        |
| 3/13（水） | 38,695.97 | 0.755              | 147.47           | △ 0.011               | △ 0.110                    | 5,298,500        |
| 3/14（木） | 38,807.38 | 0.775              | 147.61           | △ 0.009               | △ 0.088                    | 5,303,100        |
| 3/15（金） | 38,707.64 | 0.785              | 148.48           | △ 0.005               | △ 0.061                    | 5,309,600        |

## 来週（3月18日から3月22日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

|          | 国内主要経済指標                                       | 国債等入札予定                    |  |  | 海外主要経済指標                                  |
|----------|------------------------------------------------|----------------------------|--|--|-------------------------------------------|
| 3/18 (月) | 日銀金融政策決定会合(1日目14:00～)<br>1月の機械受注統計(内閣府 8:50)   | TB1Y<br>35,000億円<br>3/21発行 |  |  | 2月のユーロ圏消費者物価指数改定値                         |
| 3/19 (火) | 日銀金融政策決定会合(2日目9:00～)<br>日銀総裁定例会見(15:30)        |                            |  |  | 米FOMC(1日目)<br>2月の米住宅着工件数                  |
| 3/20 (水) | 春分の日                                           |                            |  |  | 米FOMC(2日目)<br>FRB 米経済見通し発表<br>2月の英消費者物価指数 |
| 3/21 (木) | 10-12月期の資金循環統計速報(日銀 8:50)<br>2月の貿易統計(財務省 8:50) | 流動性供給<br>5,000億円<br>3/22発行 |  |  | 英中銀MPC<br>2月の米中古住宅販売                      |
| 3/22 (金) | 月例経済報告 (内閣府)<br>2月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)     | TB3M<br>58,000億円<br>3/25発行 |  |  |                                           |

### ●資金需給予想

| 単位：億円    | 銀行券要因   | 財政等要因  | 資金過不足  | オペ種類                           | 期日分                             | 新規実行分                | オペ合計    | 実質過不足   | 需給要因                                                                                                  |
|----------|---------|--------|--------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------|---------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3/18 (月) | 400     | 10,900 | 11,300 | 国債買入<br>国債補完<br>社債買入<br>貸出増加支援 | <br>32,100<br>▲ 100<br>▲ 45,900 | 13,400<br><br>98,500 | 98,000  | 109,300 | TB3M発行▲58,000償還55,900                                                                                 |
| 3/19 (火) | 500     | 3,000  | 3,500  | 全店共通                           | ▲ 8,300                         |                      | ▲ 8,300 | ▲ 4,800 |                                                                                                       |
| 3/20 (水) | 春分の日    |        |        |                                |                                 |                      |         |         |                                                                                                       |
| 3/21 (木) | ▲ 500   | 78,000 | 77,500 | 社債買入                           |                                 | 1,000                | 1,000   | 78,500  | 国債利払い・大量償還<br>TB1Y発行▲35,000償還35,000<br>5Y償還15,200、10Y償還17,600<br>20Y償還5,400<br>エネルギー対策借入▲6,900期日7,600 |
| 3/22 (金) | ▲ 1,000 | 2,000  | 1,000  |                                |                                 |                      | 0       | 1,000   | 流動性供給▲5,000                                                                                           |
| 週 間 合 計  | ▲ 600   | 93,900 | 93,300 | —                              | ▲ 22,200                        | 112,900              | 90,700  | 184,000 |                                                                                                       |

3/18は日銀予想、3/19以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、新しい積み期間に入り、週初は引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれるが、金融政策決定会合の結果次第ではレート水準が大きく変動することも予想される。債券レボ GC T/N物は、金融政策決定会合を終えるまでビッドが立ちづらい状況にあり、週初はやや高いレート水準での推移が見込まれる。短国市場は、18日(月)に1Y物、22日(金)に3M物の入札実施が予定されている。また、19日(火)に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、日銀金融政策決定会合後のレート水準や、市場残高の動向が注目される。

主要なイベントは、国内では18日(月)に1月の機械受注統計、18日(月)から19日(火)に日銀金融政策決定会合、19日(火)に日銀総裁定例会見、22日(金) 2月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、18日(月)に2月のユーロ圏消費者物価指数改定値、19日(火)から20日(水)に米FOMC、21日(木) 英中銀MPCなどが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入